

# いいの 公民館だより

発行：飯野公民館 入善町東狐171-1 TEL 0765(72)5723 令和2年9月25日  
(Eメール) info-s@iino-k.main.jp (URL) http://iino-k.main.jp/

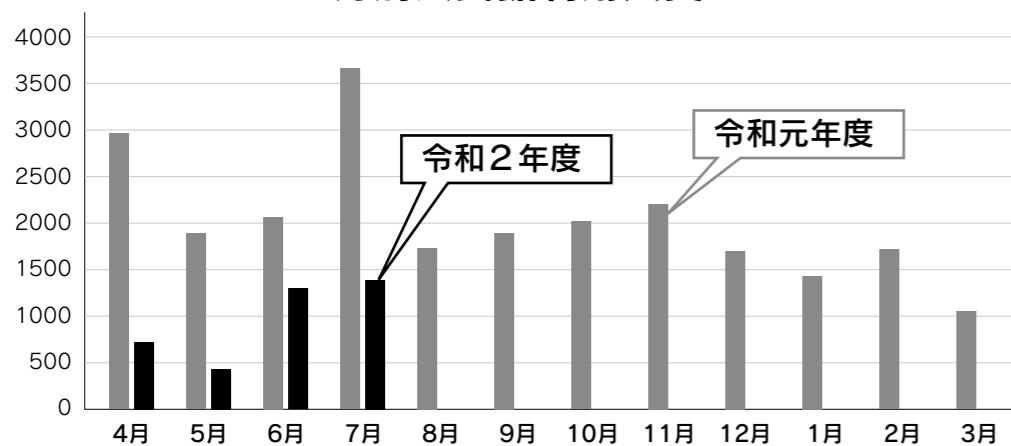
108号

	令和元年度		H30年度
	延人数	延回数	延人数
青少年	13,296	500	16,065
女性団体	1,767	173	1,788
成人団体	3,184	318	4,128
高齢者団体	1,981	229	1,667
その他団体	896	75	2,551
個人利用	3,240	54	364
合計	24,346	1,349	26,563

令和元年度の飯野公民館の利用者は、合計で約二万四千人でした。平成三十年度と比べてみると、人的には、約二千人少なくなっています。

## 公民館利用者数

月別公民館利用人員



## 新型コロナウイルスによる 公民館行事の中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、四月から五月まで飯野公民館の利用ができなくなりました。六月から利用することが可能となりました。上図は、昨年と今年度の月当たりの公民館利用者数を比べたグラフです。

### “中止になった主な公民館行事”

- 5月度 ・ 公民館運営協議会  
・ 公民館協力員委嘱状交付式&委員会  
・ 下新川郡公民館連絡協議会総会
- 6月度 ・ 第29回飯野地区吟遊会吟詠発表会  
・ さわか拵運動
- 7月度 ・ 敬老会
- 9月度 ・ 3世代交流会
- 11月度 ・ 福祉講演会

## お世話になります 公民館協力員名簿 (敬称略)

地区	氏名
上飯野新	滝本和美
せせらぎの里	鍋谷稔
道古	屋木喜世子
国道筋	高見秀明
宮坪	川口美千子
農愛	細田レイ子
三ツ家	野坂憲司
学園団地	大森雅則
上飯野	上島光雄
上飯野第2	上野貴宏
板屋	嶋田俊之
笹原	島瀬康一
五郎八・本村	飛島勝
水笑楽団地	堀田巧
蛇沢	滝本敦子
高畠	裏田明輝
芦崎第1	濱屋芳博
芦崎第2	岡本勝
芦崎第3	清田正昭
芦崎第4	西島孝義
芦崎第5	井田博
下飯野新	山崎勇
神子沢	浜田清由
五十里	沼田志津子
高瀬	竹本勉
下飯野	塚田隆明
園家	野坂哲也
報徳	井田学

- ・ 館長 上島俊晴 (上飯野)
- ・ 主事 谷口幸男 (道古)
- ・ 主事補 井田邦章 (芦崎)  
屋木秀夫 (道古)

### 園芸ボランティア現地研修 参加者募集

- ・ 南砺市 菊まつり
- ・ 11月4日(水)
- ・ 申込：飯野公民館まで

## 今後の行事予定

10月	29日(木)	園芸ボランティア教室 冬用花鉢の寄せ植え
11月	1日(日)	バードウォッチング (場所 黒部川河口)
	4日(水)	<b>園芸ボランティア 現地研修 (場所:南砺市)</b>
	5日(木)	演芸ボランティア教室 チューリップ球根の植え付け
	7日(土) 8日(日)	<b>飯野公民館まつり</b>
	未定	鮭の溯上・採卵見学(場所 未定)
12月	3日(木)	<b>スマホ教室</b>
	6日(日)	<b>親子そば打ち体験教室</b>
1月	21日(木)	<b>新春囲碁大会</b>
2月	21日(日)	<b>ペタンク大会</b>
3月	未定	鮭の稚魚放流(場所 未定)

1. 新型コロナウイルスの関係から、行事が中止になることがあります。
2. (場所 ) の表記のない行事は、飯野公民館での開催となります。

### 編集後記

今年度の前期を振り返ってみると、新型コロナウイルス対策のため、敬老会などの公民館行事が中止になる事態となりました。  
また、九州を始めとする各地に、集中豪雨による甚大な災害が起きました。私たちは、自然災害の威力に備えていかなければならないことから、この号で防災をテーマとして取り上げてみました。今後、飯野公民館の防災体制等についてお知らせしていきます。  
(谷口記)

◆お問い合わせ・申し込みは 飯野公民館(いこい~の ☎72-5723)へ

# 日本列島を取り巻く自然災害 防災を考える

今年、日本列島を襲った集中豪雨によって土砂災害、堤防決壊による浸水等の激甚災害が発生しました。幸いにも入善町は、大きな被害がありませんでした。

富山県は災害の少ない県で、立山連峰によって災害を防いでくれているという神話がありますが、果たしてそうでしょうか。近年地球温暖化によって、日本近郊の海水温度が上がってきています。海水温度の上昇は、大雨と台風の原因に大きな関連性があります。



インターネット災害無料写真素材より

昨年、千葉県を襲った台風15号による災害を覚えておられるでしょうか。一般的に台風は、太平洋赤道付近で発生し、一週間ほどで日本に到達します。しかしながら、昨年、千葉県を襲った台風15号は、海水温度の上昇により日本近郊で台風が発生し、3日ほどで日本に上陸しました。日本近郊で発生する台風は、非常に強く甚大な被害をもたらすことが予想されています。この台風15号は、今までになかったケースであり、今後、日本近海の海水温度の上昇で、このような台風が発生する確率が高まったと言えます。このことから、地域の防災を考えておく必要があります。

皆さんの家庭に、入善町からハザードマップが配布されていると思います。ハザードとは、地震や台風などの自然現象を引き起こす外力をいい、その影響がおよぶと想定される区域と避難に関する情報を地図にまとめたものがハザードマップです。避難が必要になったとき、何処へ行けばいいのか確認しておきましょう。

## 飯野地区の避難所

入善町の避難所は、校区単位となっている関係から、飯野地区で災害が発生したときの避難所は、左表のようになっています。災害時は、避難所が状況に応じて順次開設されるため、必ずしも全ての避難所が開設されるわけではありませんので注意してください。

	飯野小学校	飯野公民館	飯野保育所
黒部川洪水	○	×	×
高潮・高波	○	○	○
地震	○	○	○
津波	○	○	○
大規模火災	○	○	○
園家山土砂災害	○	○	○

入善町発行 令和2年4月1日現在の避難所



## 親子自然体験教室

8月2日、飯野小学校の生徒5名とその保護者、公民館関係者の14名で、糸魚川市にあるフォッサマグナパークとフォッサマグナミュージアムに行ってきました。

フォッサマグナパークは、シーサイドスキー場の近くにあります。約1600万年前に日本列島が誕生した歴史を見ることが出来ます。写真の右側の東は、約1600万年前、左側の西は約4億年前の地層で、断層と地質の違いを感じることが出来ます。



フォッサマグナミュージアムでは、黒姫山周辺の採掘場から運んできた石灰岩を「岩石ハンマー」で砕き、サンゴやコケムシなどの化石を捜しました。

化石の入っていない方解石は、たくさん散らばっており、すぐ見つけることができましたが、サンゴなどの化石は、岩を砕かないと見つけれません。見つけた化石は、3個まで持ち帰ることができます。

## 飯野の自然と文化を訪ねて 筆塚の由来 ～道増源兵衛の偉業と道古の箕作り～

国道筋にある川瀬医院の側を流れる川沿いに、筆塚という碑があります。この筆塚は道増源兵衛の遺徳を称え、明治9年3月に道増先生の弟子たちが筆を持ち寄り、筆を碑に奉納して建立したものです。碑には、「南無阿弥陀仏 筆塚源兵衛弟子中」と刻まれています。

道増先生は、西島接骨院の隣にある、道古の島尻家の出身です。道増先生の名の由来は、道古の道と増右工門（屋号は増しよんさ）の増を用いたとされています。先生は、幼少の頃から上野にある正覚寺の光林住職について手習いを始められましたが、正覚寺の勉強にあきたらず、舟見村の弘誓庵一瓢という学者の門下生になり、学問の道に進まれました。その後先生は寺子屋を開き、弟子たちがたくさん集まったため、屋敷を手放し物置小屋に住いしながら、多くの前途ある人材を育てられた偉人です。

また、先生は道古部落の冬期間の副業を考えられ、弟子である青木の中塚長介に、氷

見て箕作りを習ってくるように命じられました。先生は箕作りを道古部落の全戸に勧められ、道古部落で1円を支払ったとされています。明治初期には、4～5千個の生産がありました。これにより貧困の道古が非常に豊かな部落になったそうです。昭和40年頃まで盛んに生産されていましたが、プラスチック工業製品の普及により生産する農家が減り、現在では箕を作っている農家はなくなりました。（飯野小学校百年史より抜粋）

